

HUGコミ

第15号

2011年3月

ま・ち・こ・ら・む・11

わたしたちの住むまちは...

地域を動かす 「知域」の広がり

ミカミ歯科医院(萩山町)院長
「どんぐり」代表
三上直一郎さん

東村山に来て三十年。わが子の時には公民館を利用して自主保育をしていました。子どもの成長を見るのは楽しいですね。

子どものことにずっとこだわってききましたが、そのベースは私の仕事にあります。日々の診察や市の健診に携わるなか、自分の言葉を素直に聞いてくれる人に向き合うだけでいいのかなあと疑問に思い始めたんです。四十歳になった頃でした。それで地域のことを考えようと思って、診察室を使っておやつ教室や母親教室などをはじめました。

市のかかわりも二五年くらい前からになります。当時の担当課長と話し合い、市の一歳半健診時に育児に何か問題がないかを見つけ手助け

することができるようになりました。市独自で質問項目に生活習慣を聞くなどするようにしました。

「どんぐり」は二〇〇九年三月にはじめて二年。東村山市社会福祉協議会福祉協力員と地域の方々で開催しています。市からやらされたわけじゃないんです(笑)。レインボープラン(東村山市次世代育成支援行動計画)とか計画はあっても、市はあまり動いていないように感じています。でも、私のまわりには「何かやりたい」と言っている人はいるので、一度子育てイベントをやってみたらこの地域にも子どもがたくさんいることがわかったんです。

そこで、やれることからやってみよう、知り合いの協力員さんに声をかけて「どんぐり」を開催することにしました。大きな目標があったわけではなく、やりたい人はいるのに旗振りがいない...、それならしょうがないからやってみようという感じでした。開催場所は私の診療室でもよかったのですが、宣伝だと思われちゃうでしょ(笑)。だから市に公民館を貸してもらい、担当課長が地域の保育園や児童館などに声をかけてくれて、今、第2保育園や久米川保育園の保育士さんたちが手伝いに来て

くれて、とても助かっています。この地域はお年寄りが多くて、商店街がほとんど閉じて、地域が沈んでいます。このままじゃ元気がなくなる。だから、こういうことで地域が元気になったらと思っています。

私はこれから大事なことは、地域でなく「知域」だと思っているんです。となりの家の人と仲良くしなくちゃと気負うと苦しくなっちゃうこともあるけど、お互い何らかの共通する興味や思いがあればつながれます。「どんぐり」で顔見知りになると、まちの中でも挨拶ができる。世代間交流もできています。

そういう「知域」が広がれば、地域が活気づき、いい感じで干渉し合えると思います。おせっかいじいさんばあさんが活躍できる場をつくって

「どんぐり」

- 毎月第2木曜日 10~14時
- 萩山公民館保育室
- 無料

通常は1~2歳の子どもの多い。小さい子は3カ月くらいから来ています。普段は17~18組くらいの参加があり、午後は少なめ。読み聞かせの時間などもある。持参のお弁当も食べられます。

おきたいという思いもあるんです。高齢者だけでなく、若い人の引きこもりも、地域が機能していないからだと思います。

活動によってすぐに何か動き出すわけではないけれど、こういうことのひとつひとつの積み重ねで徐々に変わっていきけるんじゃないかなと。

政治や組織を動かせばもっと早くいろいろな場や制度を作れるかもしれない。でも、それで血が通ったり熱が伝わったりする活動じゃなくなっちゃうこともある。大変でも、こういう地道なやりかたの方が本当の意味で地域を動かせると思っています。みんな一緒に育っていきたくていいですね。

「どんぐり」開催中にお話をうかがいました。三上先生は、萩山公民館の来館する方々のなかに知り合いも多く、皆さんに声をかけていました。サロンを手伝う協力員さんにも「ありがとうございました。疲れたでしょう」と労をねぎらう姿に、血の通ったコーディネイト力を感じました。(聞き手 平沼美春)



義援金を集めます

このたびの大震災で被災された東北・関東地域の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

被災地の方々を思い、何か私たちにできることはないか相談した結果、子育てひろば全国連絡協議会で集める「被災地の子育て支援拠点を中心とした子ども・子育て家庭支援団体へ限定した義援金」に協力する形で応援したいと思

います。被災地の小さいお子さんを抱えた家庭の不安を考えると、子育てひろば支援団体の役割は、現地でこれからますます必要なものとなってくると考え、日頃、子どものことで活動している私たちがらしい支援になると思います。皆様の温かいご支援・協力を心よりお願い申し上げます。(4月末まで)

※スタッフに手渡し、または振込でお願いします。

【振込先】
りそな銀行東村山市店 普通 3924160
特定非営利活動法人HUGこどもパートナーズ
理事磯部妙



HUGこどもパートナーズの活動紹介・その15

預け合いによる活動

HUGでは、お母さん同士で子どもを預け合いながら学んだりスタッフ参加したりする活動の支援を行っています。

その代表的なものが、いきいきプラザ1階で毎週月曜日にひらいてきたHUGサロン「ぷらっと」です。未就園児を子育て中のママたち数人でグループを作り、そのうち2人はサロンスタッフとして現場に出て、もう2人が保育担当として入ります。保育担当のママはサロンスタッフをしているママの子どもたちと自分の子どもを別スペースでみえています。

サロンスタッフは、同じように小さな子どもをもつママ達の話し相手となり社会参加ができます。一方、保育担当者はほかの子をみる機会になり、子育ての視野を広げることができる、とてもよいしくみだと思っています。



HUGサロン「ぷらっと」 お疲れさまでした!

約6年間ひらいてきた「ぷらっと」。現メンバーは8人。昨年度と今年度でメンバーが入れ替わりながら2年間活動してくれました。今回、第二子の出産や上の子の就園など状況が変わり、新しいメンバーを募ることが難しかったため、この3月末で、いったん「ぷらっと」を閉めることになりました。

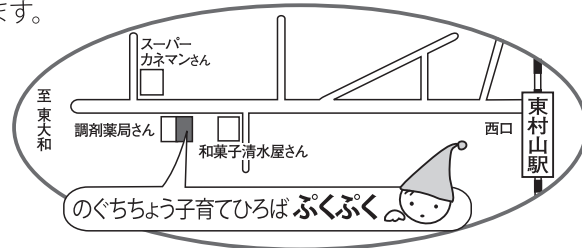
長い間、ご利用・応援ありがとうございました!

★常設の「子育てひろば」もやってるよ!

2011年度 HUGの居場所づくり事業

東村山市のぐちよう子育てひろば ぶくぶく

ぶくぶくは、野口町にある常設のひろばです。
月曜～土曜日まで毎日やっていますので、いつでも、ふらっと寄ってください。
近所の親子が通う小さなひろばなので、何回か来るうちにすぐ顔なじみになり、アットホームで一人でも気軽に来られます。
持参のお弁当も食べられます。



月～土曜日 10:00～16:00(日・祝日休み)
東村山市野口町2-4-36 TEL 393-4181
※駐車場はありません

◆プログラムメニューのいろいろ◆

- 【ママスタディ】 月2回の子育て講座
- 【パパサロン】 パパ向け講座とパパの仲間作りを応援
- 【ベビーサロン】 0歳の赤ちゃん向けサロン
- 【ぶくぶくカフェ】 手作りお菓子とお茶でひと息(実費)
- 【絵本ひろば】 ボランティアさんによる読み聞かせ

※3月30日(水) 10:30～12:30は、「トコトコ通信」の印刷日。会場は中央公民館、保育室に変更になりました。ぜひ遊びに来てください。停電等による変更については、「HUGぶろぐ」でご確認ください。

毎月のサロン情報は…

ブログが「トコトコ通信」でチェック!
毎月発行のミニコミ誌『トコトコ通信』では、ぶくぶくのカレンダーや親子サロン情報、イベント情報も講座案内もチェックできます。

HUGホームページ
<http://members3.jcom.home.ne.jp/hug-partners/>

HUGぶろぐ
<http://wind.ap.teacup.com/npohug/>

トコトコ通信ブログ
<http://news.ap.teacup.com/tokotoko/>



雑記報 ■この度の大災害の被害の凄まじさに、胸が痛みます。被害に遭われた皆様には心よりお見舞い申し上げます。一人でも多くの方のご無事をお祈りしております。■ぜひ、子ども・子育て家庭支援に限定した義援金の募金にもご協力下さい。地震と津波については、自然の恐ろしさをひしひしと感じると共に、何でもできると勘違いしがちな人類に対する警告のようにも思えます。放射能汚染が心配でなりません。放射能汚染が心配で電は危険という認識をもちながら、もたれた行動もせず、便利な生活を享受し続けて来たわけは、こういう形でつきつけられるのだと痛感せざるを得ません。今後私達はどこに向かかって、どんなふうにして生きていけばいいのか、皆で考える良い機会ともいえます。■市内では、ひろばや児童館が閉鎖され、不安な思いで子どもと過ごしているママ達を思うと歯がゆい思いでいっぱいです。こういう時こそ顔を合わせてお互いに元気を交換したいものです。トコトコ通信の印刷日(30日)には、ぜひ遊びに来て下さい。■次号は来月発行します。特集は、「子どものために選挙へ行こう!」。4月24日(日)は市長選と市議選のダブル選挙。ぜひ投票を!

親子サロン

「親子サロン」は乳幼児を連れて気軽に遊びに来られる場です。
子どもを遊ばせたいパパママ、子育て情報が欲しい方、先輩ママに話を聞いてみたい方……
おじいちゃん、おばあちゃん、どなたでも大歓迎!
一息ついておしゃべりしていきませんか?
ひとりでも、ねんねの赤ちゃんでも大丈夫!
先輩ママスタッフが待っています(すべて無料)。

HUGサロントコトコ

- ◆毎月最終水曜日 10:00～12:00
- ◆ころころの森
- 協力:社会福祉協議会
- ※連絡先 080-3385-2148(鈴木)

ころころの森のぞうさんの部屋でトコトコ通信の印刷日に開いています。手伝いをしながら、ママ友や先輩ママとおしゃべりは楽しいよ! サロンスタッフもいますので、お子さんも安心して遊ばせてください。
できたてほやほやの「トコトコ通信」もその場でゲットできます。



HUGサロン ぼっと

- ◆毎月第2/4火曜日 10:30～12:30
- ◆いきいきプラザ2F健診室
- 共催:東村山市子育て支援課

保健師さんに身長・体重を正確に測ってもらえる計測の日にあわせて開いています。計測や役所の用事のために立ち寄るママも。市内全域からの利用があり、地域の情報提供もしているため、引っ越してきたばかりの方や、仕事をしていて実は地元のことをよく知らない…というような方には特におすすめです。気軽にスタッフに声をかけてくださいね。

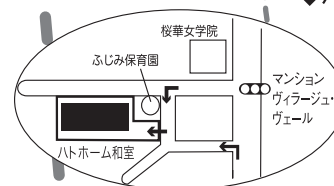
ぼれぼれ広場

- ◆毎週木曜日 11:00～15:00
- ◆白十字ホーム 1F会議室(諏訪町2-26-1)
- 主催:ぼれぼれ広場実行委員会
- ※駐車場はありません。

地域のおばあちゃん達やホームのお年寄りとの交流できる諏訪町地域のあたたかい広場です。

子育て広場 ハトの家

- ◆毎月第2/4金曜日 10:00～12:00
- ◆ハトホーム 1F和室(富士見町2-26-1ハトホーム内)
- 両主催:NPO法人子育て広場きらら
- ※駐車場はありません。
- ※連絡先 042-393-7574(ハトホーム 大谷)



小平のNPO法人子育て広場きららと一緒に開いています。手作り看板を目印に、ハトホームの「通用門」から、垣根つたいに進んで引き戸を開けると、開放感のある和室が。明るい雰囲気初めて来る子もすぐに慣れて遊んでくれるので、ママたちは雑誌を読んだりおしゃべりしたり、ゆったりと過ごしています。その様子を眺めるお年寄り達は本当にうれしそう。ホームの職員の方々も楽しみにして下さっています。

月齢別ベビープログラム

月齢にあわせたあやし歌とおしゃべりタイムのプログラムです

2カ月の赤ちゃんとお母さんのおしゃべりTime

日時:毎月1回 10:20～12:00(受付10:00)
対象:2～4カ月の赤ちゃんとお母さん
会場:いきいきプラザ2階健診室
共催:東村山市子育て支援課

5カ月の赤ちゃんとお母さんのおしゃべりTime

日時:毎月1回 10:20～12:00(受付10:00)
対象:5～7カ月の赤ちゃんとお母さん
会場:ころころの森
主催:東村山市子育て総合支援センターころころの森